

1 単元名 『カペリート』にセリフを吹き込み！(「表現のしかたを工夫して書こう」との関連)

2 目 標

- (1) キャラクターの特徴をつかみ、物語を作ろうとする意欲をもつ。(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 映像を見ながら、セリフを考えて場面に応じた適切な表現をすることができる。(書くこと)
- (3) 場面に応じた登場人物のセリフを考え、一話完結のストーリー構成を練ることができる。(読むこと)
- (4) 国語辞典や類語辞典を使いながら、語彙の拡充に努めることができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 単元について

本単元は自作単元であり、NHKの無声アニメ「カペリート」を題材とし、このアニメにセリフを吹き込んで物語を作っていくことを主なねらいとしている。カペリートは森に住むキノコで、鼻をつまむと何にでも変身できるキャラクターである。アニメという身近な題材を使うことで、生徒たちは興味を持って意欲的に取り組むことが期待できる。一話完結で、5分前後の短編ストーリーであり、生徒にとって大体の概要をつかみやすい題材である。

これまでに生徒は、意欲的に取り組むために書く活動を、何度か体験し、学んできている。聞き取ったことを文章化していったり、書くことについては、ある程度抵抗なく取り組めるが、場面に応じた登場人物の心情を考えたりすることにまだまだ慣れていない。

生徒の実態調査	(アンケート	平成*年*月*日実施	*名)
・書く活動は、	好きである。*名	ふつうである。*名	きらいである。*名
・物語の大体の概要を把握することが、	得意である。*名	得意でない。*名	
・登場人物の心情を推察することが、	得意である。*名	ふつうである。*名	苦手である。*名
・辞書を、	積極的に活用している。*名	あまり活用していない。*名	

本学級の生徒は、実態調査より、作文活動そのものを好意的にとらえている生徒が多いことがわかる。また、物語の全体の内容をつかむことを不得手としている生徒が多い。昨年度の学力診断テストなどの結果からも、それがうかがえる。

そこで、今回は、無声アニメのDVDを再生しながら、その場面で適切なセリフを創作することで、意欲的で主体的な活動になる授業展開を考えた。そして、今までの「読んで考えて書く」という活動から「見て聞いて考えて書く」という活動への変換を図り、書き換えに対する生徒の興味・関心を高めていきたい。さらに、一つの言葉、連なった言葉を駆使しながら、言葉のもつ響きやリズム、イメージを大切にしたい表現活動の支援を行っていくことで、併せて辞書の活用も積極的に図っていきたい。

4 指導と評価の計画 (3時間取り扱い 本時は2時)

次	学 習 内 容	時	評価の観点					主 な 評 価 規 準
			関	話	書	読	言	
1	○四コマ漫画の四コマ目を起承転結を考えながら作る。 ○『カペリートのかかし』のDVDを見て、構想を練る。 (登場人物やセリフなどを構想メモに記入する。)	1	○		◎	○		・状況にふさわしい吹き出しを考 えることができる。 ・場面に応じた登場人物のセリフ を考え、この話がどんな話だ ったか簡単にまとめることが できる。 ・一話完結のストーリー構成を練 ることができる。
	○ストーリーを意識しながら場 面に応じた適切なセリフを創	2 3	○		◎		○	・場面に応じたセリフを表現し、 ナレーションを創作することが

<p>作する。</p> <p>○作品の交流をしながら、友だちの作品の推敲をする。</p> <p>○ふり返しカードに記入する。</p>										<p>できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辞書を引きながら、既習言語を漢字に直すことができる。 ・友だちの作品を推敲しながら、表現力の良さに気づくことができる。 ・辞書を引きながら、友だちの作品の誤字・脱字の確認ができる。
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

5 本時の学習

(1) 目 標

セリフやストーリーを考えて、場面に応じた適切な言語で表現することができる。

(2) 校内研修テーマとの関連

テーマ 基礎・基本の定着と表現力を高める授業改善

互いの作品を読み合い、友だちの表現の「よいところ」に気づかせることで、表現力の向上を図りたい。

(3) 準備・資料

カペリーートのDVD・構想メモ・脚本用紙・国語辞典

(4) 展 開

(評) は評価及び評価の方法 ◎はテーマとの関連

学習内容及び活動	援助・指導上の留意点と評価
<p>1 漢字トレーニング(略して「漢トレ」)で「擬音語集め」をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ことばとの出会い」を大切にし、ことばや漢字に興味を持ってもらうために、毎時間意図的に入れている活動で、より多くのことばを引き出したい。
<p>2 本時の学習課題をつかむ。 カペリーートにセリフを吹き込もう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題をきちんと把握させることで、本時の活動がスムーズに流れるよう配慮する。
<p>3 ストーリーを意識しながら、場面に応じた適切なセリフを創作する。</p> <p>(1)無声アニメを見ながら、その流れを確認する。</p> <p>(2)構想メモに書かれたあらすじを確認し合う。</p> <p>(3)グループ内で話し合いながら、脚本用紙(場面ごと)にセリフを創作する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ同質のグループ編成になるよう考える。 ・漢トレで集めた擬音語を物語の中で使うように指示する。 ・場面を確認したい生徒のためにDVDを常時流しておく。 <p>(評) 場面に応じたセリフを表現することができたか。(観察, ワークシート)</p> <p>〈Aの生徒への手立て〉 〈Cの生徒への手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く終わった生徒には、辞書を引きながら、できるだけ漢字に直すように指示する。 ・なかなか終わらない生徒には、DVDでその場面をふり返らせながら、個別に支援し、グループ活動をうまく利用する。
<p>4 グループ内で作品の交流をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ作品は完成していなくても、作品の交流をすることで、今後の活動がより充実し、表現力等が深まるような時間としたい。 ◎同じグループの友だちと、お互いの意見を尊重し合い、協力しながら活動する。
<p>5 本時の授業のふり返しをし、次時の授業の予告をする。 2年3組版カペリーートを完成させよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業のふり返しをノートにする。 ・次時の授業の予告をすることで、学習の見通しを持たせる。